

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

Reach Within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 国際ロータリー会長 カルヤン・パネルジ



2011-2012年度 会長 天野清美 幹事 端山佳誠 クラブ会報委員長 亀井敏勝

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウエスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

2011 November 9

■ 2011～2012年度方針

「学び、楽しみ、育てようロータリー」

NO.17

## 例会報告

●第1922回例会 平成23年11月9日(水)曇

●11月はロータリー財団月間

●ロータリーソング 我等の生業

●出席報告 会員 101 名中 (93) 出席68名

出席率73.12% 修正出席率90.43%  
(10月26日分)

●ゲスト紹介

・ゲストスピーカー

名古屋大学教授 福井 康雄氏

・元米山奨学生 ダオ・トリン・チン・ニャン君

●ニコボックス

「皆さんに良い事があります様に」

浅野 洋君、花橋日出夫君

本日のニコボックス 1件 4,000円

累 計 119件 1,128,000円

## 端山幹事報告

▽岩倉RC例会場変更について(平成24年1月より)

例会場

岩倉市生涯学習センター

岩倉市本町神明西20番地 サクラド岩倉2階

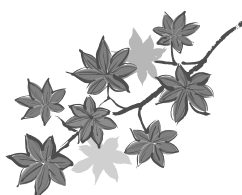
TEL 0587-38-0555

▽当クラブ行事予定

・11月23日(水) 祝日のため休会です

・11月30日(水) 例会終了後、クラブアッセンブリーを開催致します。理事・役員・各委員長のご出席をお願い致します。委員長のご都合が悪い場合は代理の方のご出席をお願い致します。

クラブアッセンブリー終了後、理事会を行います。



## 天野清美会長挨拶

秋の気配を色濃く感じる時節になって参りました。紅葉も平地迄降り、色変わりをはじめてきております。そして又、新蕎麦を味わう季節でもあります。

ところで日本のお寿司がダイエット食として世界中に広がっている事は御承知の通りですが、現在はお蕎麦がブームとなってアメリカの大学の学食にも天ぷら蕎麦があり、若者にも人気があるそうです。

アニメや漫画、コスプレなどだけでなく日本食もクールジャパンの一つとしてグローバル化が急速に進んでいます。

今、円高で日本の工業製品は価格競争力が低下し輸出に悪影響を及ぼすとマスコミで毎日の様に言われていますが、為替変動にあまり悩まされない「おもてなし」を含めた日本の伝統と文化を世界に広めてゆく事も大切だと思います。

先程、輸出について少し触れましたが先日、中日新聞に東大の松原隆一郎教授の「輸出は経済成長の道具ではない」というタイトルで一文が寄せられていましたので御紹介させていただきます。

競争力を高めて輸出を促進すれば経済が成長するかのようになっている。それはせいぜい途上国に当てはまる話で、名目国内総生産5兆ドルの日本とは同列には論じられない。大国で輸出が輸入を上回って得た資金を円に換えれば、中長期的には自国通貨

高になって輸出ができなくなる。  
輸出促進は後に自分で自分の首を絞める事になる。  
輸出で得たカネは同額輸入に回すしかない。輸出は  
輸入の為にあるのであって、経済成長の道具ではない。

輸出にばかり目を盗られてはいけないと。

いかがですか論旨は違いますが、昔の前川レポートを思い出しました。二十年以上行きつ戻りつ、未だ解を見い出せない状況はいかがなものかな…と。

皆さんはどうお感じになられるでしょうか？

## 卓 話

### 原子力と宇宙

名古屋大学大学院 福井 康 雄



原子力は、20世紀の中頃に利用が始まった新しいエネルギー源です。夢のエネルギー源として、大きな期待を集めました。今日は、宇宙を見る視点で、原子力と地球のこれからを考えたいと思います。

原子力の元はウランです。ウランは重い物質で、1立方センチメートルあたり19グラムもあります。ウランという名称は天王星(Uranus)に由来します。

ウラン(235)は2つに分裂し、分裂に伴って大きなエネルギーを出します。このエネルギーで水を水蒸気にし、タービンを回して発電できます。このような炉を原子炉と呼びます。人類最初の原子炉は1942年、フェルミによってシカゴ大学で成功しました。原子炉ではウランはゆっくり反応し、プルトニウムを作ります。ウランやプルトニウムを激しく一瞬で反応させたのが原子爆弾です。

原子炉が出来る前に放射線を発見し、実験していた研究者がいます。キュリー夫人が有名です。彼女は1898年にウランの放射能を発見し、放射性元素(radioactive element)と命名しました。キュリー夫人はその後も研究を続けましたが、放射線の人体への危険は考えていませんでした。フェルミ、キュリー夫人を含めてこの頃の原子物理学者の何人かは、その後ガンでなくなっています。キュリー夫人の遺品にも多量の放射性物質が付着しており、簡単には調べられないということです。

原子炉は安全だと言われてきましたが、放射性物質は人間が自由に扱うことのできない、厄介な「しろもの」です。一旦、事故が起きてしまうと、簡単にコントロールできません。特にセシウムは半減期が長く、数10年の規模で影響が残ります。これは原子核というものが、人間の手で簡単には操作できないためです。例えば、金を作ることは不可能です。金の原子核を作ったり、変更したりするには、膨大なエネルギーが必要です。ウランも然りです。

これらの元素の元は、宇宙です。宇宙の星の爆発(超新星爆発)の強烈なエネルギーによって、宇宙にある元素の大部分は作られたのです。私達の身の周りの物質の持つエネルギーの1億倍をこえる、強烈なエネルギーです。ちなみに、普通の火薬のエネルギーは、その1万分の1ほどです。原子力の並外れた性質が垣間見えます。

原子力利用の問題の一つは、最終的な産物である放射性廃棄物の処理です。今のところ、地下に埋めることが想定されていますが、その技術は未開発です。当面は、原子炉を維持するしか方法はありません。そのために、原子力を良く知る研究者も育成しなくてはなりません。そして最終的に原子炉の安定な廃棄を実現しなくてはなりません。百年の仕事です。

海外の研究者と話すと、よく日本の原発と大災害の話題になります。日本の原発対策と災害処理は、意外に高く評価されています。大災害の前には、特効薬はありません。人間の持つ科学と技術の力は、実は本当にささやかなものです。太陽系を含む宇宙の強大さと激しさを思うと、地球に生を受けていることは奇跡に近いと思われれます。科学と技術への理解を深めることが、このような認識の元になります。自己の力の微小であることをよく肝に銘じ、謙虚に、かつ、懸命に生きたいと思います。

例会	月日	今後の予定
第1923回	11.16	名古屋大学教授 岩尾聡士氏 「超高齢社会と街づくり」
第1924回	11.30	40周年卓話 富島照男1997~98年度会長 40周年実行委員長
第1925回	12.7	年末会員家族懇親会 17:30~ウェスティンナゴヤキャッスル

○このウィクリーは再生紙を使用しております。